

- ・会場内での飲食費※
 - ・会場外での飲食費※
- ※印の項目が、経済効果の算出基礎となるもの。

これらの条件から試算される消費額は、観客消費額が6億5千万円、ホームゲーム運営費等が2億1百万円、相手チーム宿泊費等が1千万円となり、合計で8億6千1百万円となる。

この合計額を、飲食料品や商業、対事業所サービスなどの消費部門ごとに振り分け、産業連関表による経済波及効果分析を行なうわけであるが、その流れを簡単に示したものが図8となる。

今回の試算においては、8億6千1百万円の消費額（新規需要）によって生み出された直接効果が、6億7千5百万円。

直接効果を生み出すために、原材料の取引を通じて関連する他の産業にも波及する生産やサービスの額である1次効果が2億1千1百万円。

1次効果により生じた雇用者所得が消費支出となって新たな需要を生み波及する生産やサービスの額である2次効果が1億9千6百万円と試算された。

その結果、栃木SCのホームゲーム等の開催による宇都宮市内での経済効果は、直接効果、1次効果、2次効果までの合計で、10億8千2百万円であると試算された。

前提条件にもあるように、今回の試算においては、選手やスタッフ等の人件費とその波及効果については消費額には含んでいないが、当然、選手やスタッフの多くは宇都宮市内を生活拠点としていると思われることから、そうした額まで考えると、市内に及ぼす経済効果はより大きなものとなると思

われる。

また、ホームゲームを開催する栃木県グリーンスタジアムは、栃木SCがホームゲームを開催するために、Jリーグの試合開催基準を満たすべく、ナイター照明の照度の向上や観客席の増設などの施設改修・整備工事を行っている。こうした工事による経済効果はとても大きなものと考えられるが、今回の試算においては考慮していない。

他のJチームにおける経済効果の試算においても、試算対象となる項目は統一されておらず、各チームが独自の基準で試算しているため、経済効果を単純に比較することができないなどの課題もあり、今後検討の余地があるといえる。

5 まとめ

本章では、今回の調査研究によって得られた知見を基に、産業連関表を活用した経済効果の活用方策についてまとめる。

(1) 評価指標の1つとしての活用

宇都宮市においては、行政評価が実施されており、事業当初に設定した指標に対して、現在（事業後）どういった状況になっているのかを比較し、評価を行なっているわけであるが、経済効果を事業の評価指標の1つとして設定することも可能である。

(2) 施策・事業の事前評価としての活用

複数案の施策・事業がある場合において、それぞれの経済効果を算出することにより、各事業の効果を数値で比較することが可能である。

(3) 施策・事業の事後評価としての活用

施策・事業を実施した後に、どれくらいの経済効果があったかを算出することにより、市民に対する説明責任を果たすことが可能である。特にイベント等を開催した際の指標として活用することが非常に有益であると思われる。

(4) 経済効果分析の応用

経済効果の分析結果に特定の係数を掛けることで、別の分析を行なうことが可能である。例えば雇用係数を用いると新たに生み出される雇用効果が算出できるし、営業利益率や税率を用いると税収の伸びが算出できる。

今後、各所属において、施策の検討の際やイベントの実施にあたっての経済効果の算出を考えている場合には、必要となるデータの準備をしていただければ政策審議室情勢分析グループにおいて試算することが可能であるので、ぜひとも活用していただきたい。分析結果を公表するしないにかかわらず、内部資料としてでも充分価値のあるものになりえると思う。

分析にあたって必要となる主なデータは以下の通りである。

- ①事業構想時
 - ・事業費と主な用途
- ②事業実施時
 - ・参加人数（宿泊者数）
 - ・消費額（飲食費や宿泊費、交通費などの内訳）

結びに、これまで、産業連関表を活用した経済効果の有益性について説明してきたが、注意しなければならない点についてふれておきたい。それは、経済効果による分析が万能

ではないという点である。

経済効果は、経済をどれだけ活性化させるかという指標のひとつであるため、施策・事業の本来の目標とは関係がないこともあるという点を考えなければいけない。

例えば、地域に公園を建設するに当たっての経済効果は算出可能であるが、市民がそのことによってどれだけ満足が得られるかという点は考慮できないからである。

しかしながら、政策を判断するうえでの有益な指標の1つであることには間違いないので、まずは、施策・事業の経済効果を推計してみるということが重要であると考えている。

末筆ながら本稿の作成にあたって、視察調査及び多くの報告書等から貴重な示唆を受け、その概要を引用させていただいた。そのすべてを明記するのは困難であるため記して感謝申し上げます。また、アンケート調査にご協力いただいた栃木SCサポーターズクラブ38の皆様には重ねてお礼申し上げます。